

オーストラリア・西シドニー新都市開発に関する現地セミナーを初開催

～現地政府機関と連携し日本企業の都市開発プロジェクト参入を推進～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、令和4年11月22日～23日の2日間にわたりオーストラリア・シドニーにおいて日本企業を対象としたオーストラリア・西シドニー新都市開発に関する初めての現地セミナーを開催しました。

日本企業の海外展開を推進するため平成30年に施行された「海外インフラ展開法」を受け、UR都市機構は、オーストラリアでニューサウスウェールズ（NSW）州政府とシドニー大都市圏における都市開発の技術協力等の包括的な覚書を交換（平成30年11月29日）し、同州政府傘下のウェスタン・パークランド・シティ公社（WPCA）が主導する西シドニー新空港周辺のまちづくりの支援を行っております。

令和3年4月にはUR都市機構初の海外事務所をシドニーに開設し、このビックプロジェクトの支援を推進してまいりましたが、令和8年の新空港開業に合わせ、この開発計画に参入希望の企業を募集する等の段階へと進んでまいりました。オーストラリア側では日本企業の先端技術や都市開発ノウハウに大きな期待感があることから、日本企業の参入促進を目指し、現地や日本国内の日本企業を対象とした、UR都市機構では初の海外での現地セミナーを開催した結果、日本企業20社48名の参加がありました。（セミナーの詳細は次頁参照）



現地セミナー（説明会・交流会）の様子

UR都市機構は今後もWPCAをはじめ州政府機関との協働体制を強化していくと共に、日本企業や現地の日本政府機関との連携を深め、日本企業のオーストラリアでの都市開発プロジェクト参入を推進してまいります。

■セミナー概要

・第一日目

オーストラリアの企業も参加する「西シドニー新都市開発に関するWPCAによる説明会と交流会」が実施され、日本とオーストラリア間の相互理解と連携が促進されました。またシドニー中心部セントラル駅周辺の再開発地区においてもセミナーと視察を実施しました。

・二日目

西シドニー最初の開発予定地であるブラッドフィールドシティセンターや新空港建設現場の視察とともに、WPCAに対する日本企業各社のプレゼンテーションと対話を行い、オーストラリア側に日本企業の特長や意欲について積極的なアピールがされました。オーストラリア側からも将来の最先端都市を目指す中で西シドニーにおいて、日本企業の技術やノウハウに対する高い期待が表明され、今後の日本とオーストラリア相互の連携促進とともに、日本企業の参入に向けた動きが加速しました。

■参考 現地視察の様子



参考開発地区視察の様子

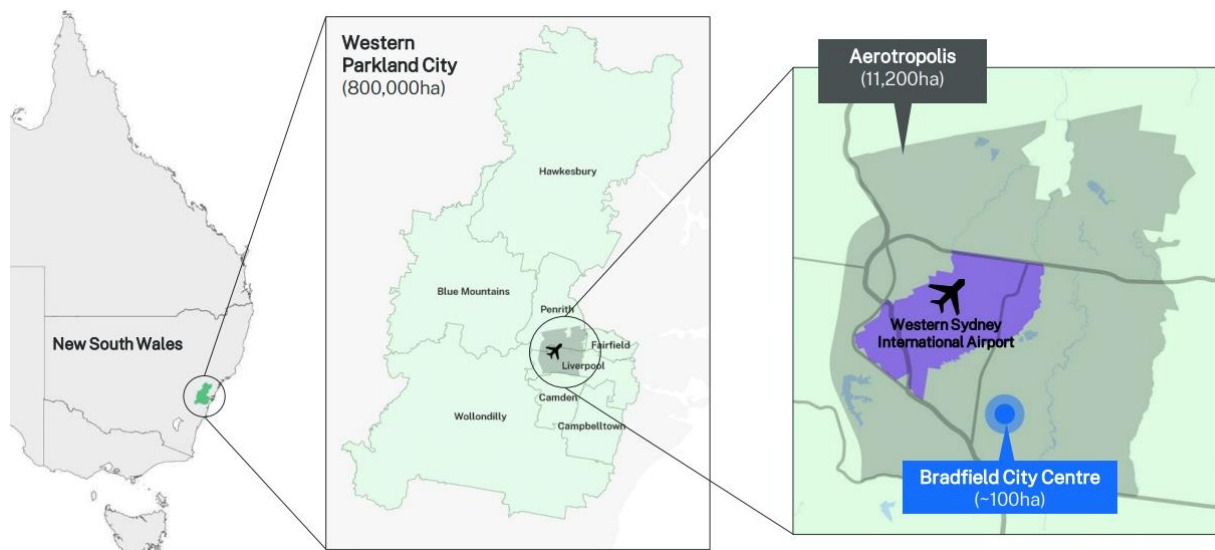


新空港建設現場視察の様子

■参考

【西シドニー新都市開発（エアロトロポリス開発）の概要】

- ・ NSW州は西シドニー地域の8 地方自治体と連携して、令和8 年開業予定の西シドニー新空港とその周辺地域を対象に最先端の新都市開発を目指した Aerotropolis エアロトロポリス（面積約 11,200ha）の開発を推進。



出展:WPCA ホームページ公表資料(<https://www.wpca.sydney/>)から抜粋

【報道機関お問い合わせ先】

UR都市機構 本社 海外展開支援部 豪州課 (電話) 045-650-0933
本社 広報室 報道担当 (電話) 045-650-0887